

# やまねっと通信 第15号

2017・8

発行:社会福祉法人やまねっと

〒242-0028 大和市桜森3-4-2 大和泉の森作業所内 TEL 046-282-9018

## ＝＝役員改選に伴い理事長が変わりました＝＝

平成29年6月20日の理事会において役員改選について議事が執り行われ、山岸安志氏から新たに薄葉雄一氏が新理事長として就任することとなりました。

やっぱり感謝です

大和泉の森作業所ができたときは42歳でした。市内の7つめの作業所としてスタートしました。障がいの重い人も通える作業所を作ろうとできたものでした。当時、松風園は大和市立の障害者更生施設で障がいの重い人たちが多く、定員がいっぱいでなかなか利用できない状態でした。そこで松風園の人たちも受け入れられる作業所を作ろうということで、泉の森作業所ができました。常勤職員3名、非常勤職員1名でのスタートでしたが、利用者は5名でした。やっと入れた松風園から海のものとも山のものともわからない作業所に来ていただいた皆さんには感謝です。

2001年ころ大和市障害者地域作業所連絡会の会長になりました。2003年には支援費制度がスタートし、2006年に障害者自立支援法が施行されました。県の単独事業だった障害者地域作業所は自立支援法の自立支援給付の事業（生活介護など）を選択するか、市町村の行う地域生活支援事業の地域活動支援センターに移行するか、市町村も交えて悩みました。結果として、2008年にNPO法人大和障害者地域生活支援ネットワーク設立、順次自立支援給付事業への移行となりました。2013年には社会福祉法人となりました。すぐに弱音を吐き、リーダーシップもなく、悩む会長であり理事長であった私を支えてくださった役員、評議員、職員、利用者、家族の皆さんに感謝です。

今、社会福祉法人になったやまねっとを思うと、方向性が見えなく悩み、嵐の海に行く小舟のようだと思えた当時がうそのようです。

私には60歳定年というのが特別な意味がありました。働き始めて気が付いたら、60歳というゴールを目指していたのです。一つの区切りとして必要でした。わがままを聞いていただいた皆さんに感謝です。

追伸

61歳で職場が変わるのはけっこう大変です。わからないことばかりで学ぶことの多い毎日です。また、やまねっとの理事でもありますので、歳だとはいえませんが、もうひと頑張りしないといけないなと思っています。

山岸安志

理事長就任にあたって

先に開催された第25回理事会において理事長に選出された薄葉雄一です。障がい者入所施設を経て、平成2年から大和市内で働かせていただき27年になります。その間地域作業所、NPO、そして社会福祉法人と運営形態は変化をしまいましたが、ずっと利用者、ご家族、そして地域・行政の関係者の皆様と街の中でお付き合いを続けさせていただいております。山岸前理事長の後を引き継ぎ、重責に身の引き締まる思いではございますが、精一杯努める覚悟です。

現在の日本の社会福祉の状況は決して安泰というわけではありませんが、自分の足元をしっかりと見つめ、理事長として職員と心をつにし大和市の障がい福祉に貢献をしまりたいと思います。

皆様方からのより一層のご支援ご鞭撻をいただきたくお願い申し上げます。

薄葉雄一

## 新役員紹介

社会福祉法の改正による改革で理事、監事の任期が平成29年6月の定時評議員会までとなっていました。平成29年6月20日の定時評議員会にて新理事及び監事が承認され、その後の理事会において新理事長が選任されました。新理事・監事、理事長は以下の通りです。

### 理事

氏名	任期
薄葉雄一 理事長	平成29年6月20日～平成31年6月の定時評議員会
山岸安志	平成29年6月20日～平成31年6月の定時評議員会
角野秀樹	平成29年6月20日～平成31年6月の定時評議員会
安藤浩己	平成29年6月20日～平成31年6月の定時評議員会
川嶋伸幸	平成29年6月20日～平成31年6月の定時評議員会
国分達也	平成29年6月20日～平成31年6月の定時評議員会

### 監事

氏名	任期
尾澤詳憲	平成29年6月20日～平成31年6月の定時評議員会
牛島秀保	平成29年6月20日～平成31年6月の定時評議員会

～\*～

## 平成29年度社会福祉法人やまねっと 事業計画

社会福祉法人になり、まる4年が経過しました。2月には、第3期の役員・評議員の改選を行いました。社会福祉法の改正により、4月には、新定款にもとづき、評議員選任・解任委員会で新たな評議員が選任され、6月にはその評議員により理事が選任されることになっています。日本全国の社会福祉法人が一斉に役員改選を行うこととなります。少し複雑な手順をふんでいます。今後は理事・監事2年、評議員4年の任期で法人運営が図られていくこととなります。

昨年は、津久井やまゆり園において凄惨な事件が起き、障がいのある方、ご家族そして障がい福祉関係者にとって非常にショックな年でした。と同時に施設の建て替え案が県から出され、大きな議論が巻き起こり、改めて「地域で暮らす」とは「あたりまえの生活」とは、と深く考えさせられました。今年は、社会福祉法人として、改めて人の命の尊さ、人権の大切さを声を大にして訴え、身をもって行動すべき年にしたいと思います。

昨年9月にやまねっとほむ桜が丘を開所し、当法人のグループホームを利用されている方が20名になりました。ほとんどの人が法人の日中活動の事業所を利用しています。熊本や島根で大きな地震があり、東南海地震や首都圏の直下型の地震も懸念されています。また、大雨や大雪、台風などの自然災害も多く、昨年夏には、高齢者のグループホームで川の氾濫のため9名の方がなくなりました。そうした災害に対応するための非常災害対策計画を各事業所で作成し、避難経路の確認や職員の緊急連絡網の作成を行いました。災害時にグループホームや日中活動の利用者の皆さんの安全が図れるよう、毎年計画を検討し、見直していきたいと思えます。また、市内の法人と連携し災害時の協力を検討してゆきます。

本年度もご家族、地域の皆様、その他関係各位の皆様のご協力をいただきながら、障がいのある方たちが、地域で働き、暮らしていく、そういったあたりまえの生活がおくれるよう支援をしてまいります。

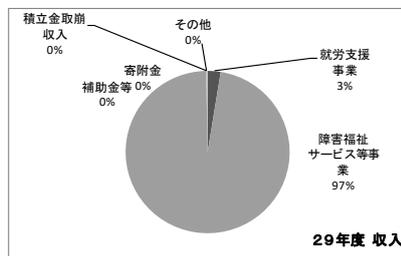
平成29年3月作成

## 平成29年度 社会福祉法人 やまねっと 予算の概要についてお知らせします(事業活動による収支)

平成29年4月1日より平成30年3月31日まで

※ 単位: 円

収入の部	
就労支援事業	7,994,000
障害福祉サービス等事業	303,746,000
補助金等	0
寄附金	157,000
積立金取崩収入	0
その他	909,000
<b>収入合計</b>	<b>312,806,000</b>



支出の部	
就労支援事業	7,994,000
人件費	231,838,000
事業費	30,966,000
事務費	32,624,000
その他	986,000
<b>繰越収支差額</b>	<b>8,398,000</b>
<b>支出合計</b>	<b>312,806,000</b>

